

つなぐ人 フォーラム

第12回つなぐ人フォーラム 実施報告書

日時 2020年2月14日(金)～16日(日) <2泊3日>
会場 清泉寮(公益財団法人キープ協会)
主催 第12回つなぐ人フォーラム実行委員会 / 公益財団法人キープ協会

人 目次

❖ 実行委員長挨拶	・・・ 2
❖ 実施概要	・・・ 3
❖ スケジュール	・・・ 5
❖ 1日目：10分プレゼンテーション	・・・ 6
❖ 2日目：45分プログラム	・・・ 9
❖ 3日目：2.5時間ワークショップ	・・・ 22
❖ 協賛広告	・・・ 25
❖ 個人協賛	・・・ 26



人 実行委員長挨拶

第12回つなぐ人フォーラム 実行委員長

高橋 真理子

一般社団法人星つむぎの村 共同代表



第12回つなぐ人フォーラムにご参加くださった、ツナギスト含め参加者のみなさま、ご協賛会社のみなさま、実行委員のみなさん、事務局のキープ協会のみなさん、ボランティアスタッフのみなさん、ほんとうにありがとうございます。

参加者数は少なめでしたが、例年以上に「多様性」を感じました。そして同時に、今年は特に「受容」の空気を感じました。今回の会合の最後のあいさつで、以下のようなお話をさせていただきました。

誰もが願う「幸せに生きたい」という思い。そんな一人ひとりの、そして社会の幸せのためには、

- ・自分とつながること
- ・他者とつながること
- ・社会とつながること
- ・自然（宇宙）とつながること

が必要なのだろう、と。そしてこれのすべてが、このフォーラムにはあるんだな、ということあらためて感じました。今度は参加してくださったみなさんが、「つなぐ人」の種をぜひ周辺にまいてくださったらなあ！と思います。ありがとうございました。

第12回つなぐ人フォーラム 実行委員長

梅崎 靖志

風と土の自然学校 代表



今年も集まった方の活動ジャンルが広く多様で、人数は少なめだったものの、その分濃密な交流ができた充実の3日間となりました。「つなぐ人フォーラム」は、集まる人たちが様々なものを持ち寄り、ともに作り上げる場です。実行委員も、ゲストであるツナギストも、一般参加のみなさんも、協賛企業の方も、事務局であるキープ協会のスタッフ＆ボランティアのみなさんも、役割の違いはあれど、ともにこの場を作る一員。全員がフラットな関係であることが、特徴だといえます。この関係性が前提にあるから、自由に活発な交流ができて、ここでの出会いをきっかけに新しいプロジェクトが次々に生まれて来るのだと思います。

「つなぐ人フォーラム」は、説明が難しい場です。それなのに、なぜ毎年多くの方が集まるのか？それは、「なにか、面白いことがあるそうだ」という期待感があるからでしょう。インターネットが発達して、容易につながることのできる時代だからこそ、リアルで濃密な交流の場に「なにか」がある。深くつながるきっかけとしての出会いの場。これがこのフォーラムの魅力であり、役割だと感じています。

最後に、開催にあたり協賛いただいた企業・個人のみなさま、つなぐ人フォーラムの場を共に作っていただいたすべての参加者、実行委員、事務局、ボランティアのみなさんに、心より感謝申し上げます。

実施概要

- 名称：第12回つなぐ人フォーラム
- 日程：2020年2月14日（金）13時～2月16日（日）14時
- 会場：清泉寮（公益財団法人キープ協会／山梨県北杜市）
- 主催：第12回つなぐ人フォーラム実行委員会 / 公益財団法人キープ協会
- 協賛：J-POWER 電源開発株式会社
- 後援：公益社団法人 日本環境教育フォーラム
NPO 法人 自然体験活動推進協議会
NPO 法人 日本エコツーリズムセンター
NPO 法人 持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）
一般社団法人 日本インタープリテーション協会
一般社団法人 日本環境教育学会
日本エコミュージアム研究会

■つなぐ人フォーラムとは：

「一人ひとりの働きや想いをどうやったら社会につないでゆけるだろう？」

「つなぐ人フォーラム」は、多ジャンルの中で、「つなぐ活動」をしている人たちが集い、互いの経験や知恵を共有することで、誰もが願う「よりよく生きたい」という想いを活動に変えていくプロセスです。

素晴らしい自然にあふれる八ヶ岳のふもと・清里に、毎年150人ほどの「つなぐ人」が集い、プレゼンやワークショップが繰り広げられます。想いをかけあわせて共に仕事をする人がみつかったり、一見違う分野だけど似たような手法を持って仕事している人からヒントをもらったり、視野が広がったり、全国に友達ができたり、エネルギーをたくさんもらったり・・・とにかく、「こんなに面白い人たちが集まっている場をみたことがない！」という稀有な場です。

■参加対象者：「つなぐ人」という言葉にピンとくる方

これまでの参加者層では・・・「地域や街の人々をつなぐ活動」「（野外などで）自然と人をつなぐ活動」「（博物館などで）モノと人をつなぐ活動」「（サイエンスコミュニケーションなど）科学と人をつなぐ活動」「子どもや大人をめぐる多様な活動」他、メディアを通じて、医療・福祉を通じて、建物・デザインを通じて、ワークショップを通じて・・・など、とにかく多様なジャンルが集まっています。

■参加者数：計 76 名（一般 32 名・ツナギスト 30 名・サソイビト 3 名・実行委員 11 名）

多分野の専門家で構成されている実行委員を含むサソイビトが、「みんなに紹介したい！」と思う人（ツナギスト）を数人ずつ誘い、フォーラムの中核となるメンバー約 50 名を形成します。その後、一般参加者を募集し、スタッフやボランティアあわせ、全体で 100 名ちかくの集まりとなります。実行委員・ツナギスト・一般参加者が参加費を拠出して運営しています。

■実行委員長（50 音順、所属は 2020 年 2 月現在）：

梅崎 靖志 風と土の自然学校 代表
高橋 真理子 一般社団法人星つむぎの村 共同代表

■実行委員（50 音順、所属は 2020 年 2 月現在）：

大間 哲 JOMA 海外宣教連絡協力会
小笠原 啓一 産業技術総合研究所
岡田 英之 関西ふくしグラレコグループ「むす部」
こくぼ ひろし ひとしずく株式会社
小山 泰弘 長野県林業推進センター
田中 咲子 会社員
中西 紹一 (有)プラス・サーキュレーション・ジャパン 代表
林 浩二 千葉県立中央博物館
平原 由樹 うふふなミカン 代表
古瀬 浩史 帝京科学大学アニマルサイエンス学科 教授/日本インタープリテーション協会 代表理事
三原 重央 おもろいオトナ化計画推進者

■サソイビト（50 音順、所属は 2020 年 2 月現在）：

松田 佳代 フリーランス学芸員
安田 純 アクアマリンいなわしろカワセミ水族館 館長
吉田 立 塩野義製薬株式会社

※「サソイビト」とは・・・実行委員ではないですが、ツナギストを紹介してくださった方々のこと。

■ボランティア（50 音順、所属は 2019 年 2 月現在）：

河合 千尋（東京農工大学）、久保 航大（専修大学）、小山 晴子（日本大学）、佐藤 優斗（東邦大学）、
武田 萌（帝京科学大学）、内藤 真理子（社会人）、増田 速人（帝京科学大学）

■事務局（50 音順、公益財団法人キープ協会 環境教育事業部）：

饗場 葉留果、石川 昌稔、大久保 哲、岡野 由美、小野 明子、川村 悦子、坂川 実基、佐藤 陽介、関根 健吾、
田村 のり子、鳥屋尾 健、西尾 有香音、増田 直広、村井 孝一、柳川 真澄、
齋藤 琴音（実習生）

スケジュール

< **1**日目 / 2月 **14**日 (金) >

- 12:00 受付
- 13:15 **開会式・オリエンテーション**
 - ◆実行委員長 (梅崎 靖志)
 - ◆実行委員・サソイビト・ツナギスト紹介
 - ◆旗揚げアンケート (参加者属性調査)
 - ◆「えんたくん」を囲んで自己紹介
- 14:30 **10分プレゼンテーション**
- 16:30 **全体会①**
 - ◆45分プログラム紹介&参加サインアップ
- 17:30 チェックイン
- 18:30 **夕食**
- 20:10 **交流会「つなぐ BAR」**
- 23:00 終了

< **2**日目 / 2月 **15**日 (土) >

- 7:30 **朝食**
- 9:15 **45分プログラム 午前の部**
- 12:10 **昼食** (弁当)
- 13:00 オプション: ガイドウォーク
 - ◆キープ協会のレンジャーが清里の自然をご案内
- 14:00 **45分プログラム 午後の部**
- 17:15 **全体会②の1**
 - ◆45分プログラムのふりかえり&2.5時間WSについて
- 18:30 **夕食**
- 20:20 **全体会②の2**
 - ◆2.5時間ワークショップの紹介&サインアップ
- 21:00 **交流会「つなぐ BAR」**
- 23:00 終了

< **3**日目 / 2月 **16**日 (日) >

- 7:30 **朝食**
- 9:00 **2.5時間ワークショップ**
- 11:50 **全体会③ふりかえりとこれから**
 - ◆「えんたくん」を囲んで3日間をふりかえる
 - ◆実行委員長挨拶 (高橋 真理子)
- 12:45 **昼食** (さよならパーティー)
- 14:00 終了

人 1日目：10分間プレゼンテーション

ツナギストや一般参加者からの話題提供や事例紹介。
 ホールを仕切るなどして3つのコーナーで同時進行。
 次々と繰り返られるプレゼンテーションに会場の熱気は高まりました。



時間	新館ホール A-1	新館ホール A-2	黙想館
① 14:30	伝えない広報 (こくぼ ひろし)	台風 19 号被災から見えた 農園の未来 (山崎 恵)	文化財 (モノ) を伝える ~心を育てる (八木 三香)
② 14:45	カブトガニと広報と未来 (久保園 遥)	科学館とマチとの 関係づくり、紹介します! (高尾 戸美)	河原で作ろう 0円アート、 ロックバランス。 (吉田 立)
③ 15:00	切り離された性をつなぐ： セックスミュージアムの 挑戦 (イロタカ ラズワルド)	地域にはミツバチ役が 必要だ (三浦 卓也)	高校って何するところ？ (海上 尚美)
15:15~15:30 (休憩 15分) ※④⑤データ受け渡し			
④ 15:30	大人のなぜパー (相澤 樹)	絵日記で世界をつなごう (小林 絵里子)	星野道夫と スピリチュアリティ (濁川 孝志)
⑤ 15:45	障害や病気をもつこどもの 「きょうだい」について 考える (村上 珠理)	すべては「借り物」 (村上 康裕)	自分のカラダと気持ちと 繋がって より心地良く生きる (古川 智美)

時間① (14:30~14:40)**伝えない広報 (こくぼ ひろし/ひとしづく株式会社)**

プロジェクトや企画、活動を伝えることは、みなさんに共通すること。

長年広報やコミュニケーションを仕事にきて、今「伝える」時に大切にしていることは、「伝えない」ということ。伝えすぎないことで伝わることを考えます。

台風 19 号被災から見た農園の未来 (山崎 恵/やまざき農園)

信州やまざき農園は、千曲川流域に位置し、2019 年 10 月の台風 19 号で被災しました。

ピンチを救ってくれたのは、人。畑の再 建支援金を募り、再建の目処が立った畑での新たな活動を提案してくれたのも、仲間でした。人との繋がりが宝だと感じたこと、これからの農園がおもしろくなりそうな展望も、伝えさせてください。

文化財(モノ)を伝える~心を育てる (八木 三香/NPO 法人文化財保存支援機構事務局長)

NPO として文化財の保存修復に携わっていますが、その目的は博物館の収蔵品を直すことばかりではありません。

家にあるモノでも近所にあるモノでも、モノは色々な想いを背負って存在しています。

彼らがどのように私達の生活に寄与しているのか、その力についてお話しします。

時間② (14:45~14:55)**カブトガニと広報と未来 (久保園 遥/国立環境研究所)**

小学生で出会ったカブトガニとその後の活動、広報について熱く語ります。

科学館のまちとの関係づくり、紹介します! (高尾 戸美/合同会社マープルワークショップ)

西東京市にある多摩六都科学館は、多摩北部にある5つの市が設置した科学館です。

私たちは科学による多様な学びの場づくりとまちづくりをミッションに掲げています。

地域の人々と連携した一味違う?取り組みを紹介します。

科学館やミュージアムでまちづくりに取り組みたいと考えている方、是非情報交換しましょう♪

河原で作ろう 0 円アート、ロックバランス。 (吉田 立/塩野義製薬株式会社)

河原へ行って、そこにある石を立てるだけなのに、どうしてハマる人が多いのか?実はやってみると意外に出来るんです。

そして立ったときの気持ち良さったら。世界中の愛好家たちの信じられない作品を紹介しながら、その魅力を伝えます。

時間③ (15:00~15:10)**切り離された性をつなぐ:セックスミュージアムの挑戦**

(イロタカ ラズワルド/セックスミュージアム設立準備委員会)

時空を超えて生きとし生けるものすべてが持つ性ですが、現代日本において性は隠すものであり、性について考えられる

機会は限られています。セックスミュージアム設立準備委員会は、性の研究を社会に還元する博物館の設立を目指して

活動しています。博物館を通じて現代社会から切り離された性をつなぎます。

地域にはミツバチ役が必要だ

(三浦 卓也/株式会社フェリシモ F.B.I.プロジェクト オペレーションリーダー)

地域おこし企業人という制度ご存じでしょうか?企業に努めながら地方の役場に出向できるというなかなかおもしろい

制度です。企業での事業開発と 4600 人の小さな町の公務員の W ワーク、北海道と神戸の二拠点生活をつづけて

まもなく 3 年。そこで気づいたことをみなさんにシェアさせてください。

高校って何するところ? (海上 尚美/東京都立浅草高等学校)

大学入試改革をめぐる問題が広く話題になりましたが、いま高校に求められる社会的役割ってどんなことだと思いますか?

フロンティアみたいな学校で考えたことを、博物館との関わりを軸にお伝えしたいと思います。

時間④ (15:30~15:40)**大人のなぞペー** (相澤 樹/(株)こうゆう 花まる学習会事業部 部長)

花まる学習会オリジナルの教材「なぞペー」大人が楽しめる問題を用意します！閃いた瞬間の気持ちよさを味わってください。

絵日記で世界をつなごう (小林 絵里子/日本ネイチャージャーナル協会)

身近な自然観察から、世界をつなぐ絵日記「ネイチャー・ジャーナル」のかき方をご紹介します。

星野道夫とスピリチュアリティ (濁川 孝志/立教大学)

写真家星野道夫の思想をスピリチュアリティという観点から読み解き、「自然との調和」を中心としてその思想を紹介する。
この星野道夫の思想にこそ、分断が問題となる現代社会を調和に導くためのヒントが隠されていると考える。

時間⑤ (15:45~15:55)**障害や病気をもつ子どもの「きょうだい」について考える** (村上 珠理/京都こどもきょうだい会 えるも)

障害や病気をもつ子どものきょうだいを「きょうだい児」と呼ぶことはご存知ですか？ふだんあまりスポットのあたらない「きょうだい児」についてみなさんで考える機会にしたいと思います。

すべては「借り物」 (村上 康裕/Beehive 代表)

千葉工業大学惑星探査研究センター所長の松井孝典氏が提唱している「レンタルの思想」という考え方を、自分の職業を通して紹介する。

自分のカラダと気持ちと繋がってより心地良く生きる (古川 智美/ロルフアー)

ヨガやロルフイングというボディワークを通して、楽で心地いいカラダのあり方や動き方を体感してもらう活動の一端を紹介します。自分のカラダと気持ちともしっかりと繋がると、自分の可能性が広がります。これまで実践してきた多様なつなぐ仕事(環境教育、国際プロジェクト、通訳)を全部統合していきたいと模索中です。

人 2日目：45分間プログラム

ツナギストとサソイビト、実行委員が実施する多種多様なプログラム。
情報交換や意見交換を通して、多くの“つながり”が生まれました。



時間	新館ホール	黙想館	ハンターホール	アンデレホール	本館ホール
1時間目 9:15~10:00	川ガキのすゝめ。 川を守るために川で遊び 川を知ろう (村山 嘉昭)	ロックバランスに 挑戦してみよう (吉田 立)	「問いを立てる」 とは何か 問いとワークショップ (中西 紹一)	SDGs 超入門 (林 浩二)	林業 ZINE 編集会議 (細井 岳)
2時間目 10:20~11:05	福島で“生きる”をつなぐ ～農×自然保育×地域～ (土屋 三香)	星野道夫という 生き方をめぐって (高橋 真理子/ 濁川 孝志)	モノと対話する アクターネットワーク論 とは何か (中西 紹一)	私を雇ってください！ ～外国人と 一緒に働くためのWS～ (チョウ チュンニ/ 高尾 戸美 / 林 浩二)	図書館実験室 りぶらぼ！ ～想像×創造 +思索×試作～ (朝倉 久美)
3時間目 11:25~12:10	中学生向けに行った 飼育員のはなし (吉里 光)	時は江戸時代。。。 で始まる中学理科授業 (和田 健)	「古い思考」を学ぶ 非合理性を 合理的に楽しむ (中西 紹一)	ブラごみを 楽しく減らすには！ (眞木 まどか)	「音読療法 体験」 (大間 哲)
12:10~14:00 (移動・お昼休憩) *13:00~13:45 清里の森 ガイドウォーク (オプション)					
4時間目 14:00~14:45	きらめく世界 となりの自然は Wonderful♪ (小沢 有紀)	室町時代とつながろう ～動物物語から入る 日本の中世～ (松田 佳代)	バレーンアートで大笑い (松下 直美)	障害や病気をもつ 子どもの「きょうだい」 に思いを馳せる (村上 珠理)	スポーツを「つくる」 ワークショップ (谷口 彩)
5時間目 15:05~15:50	糸紡ぎワークショップ ～暮らしをつくる 手仕事の魅力～ (関 伸一)	素晴らしい手漉き和紙 -日本画修復に使う 紙を中心に- (嶋根 隆一)	NVCを クレーム対応に 応用しよう (全 正徳)	趣味から始めた 無農薬による米づくりと 生命の循環 (松本 一直)	お腹こぶれて 自分の内側とつながる (チネイザン) (岡田 朋子)
6時間目 16:10~16:55	たった5分で 伝えたいことが まとまるライティング法 (梅崎 靖志)	縄文土器の復元図を 描いてみよう。 (石原 道知)	学習プログラムを どう評価するか (望月 俊男)	聞こえない人が見て学ぶ 言葉の世界って不思議！ (野口 万里子)	椅子に座ってできる セルフメンテナンス (片平 祐子)

1 時間目・新館ホール

川ガキのすゝめ。川を守るために川で遊び、川を知ろう

(村山 嘉昭/写真家)

写真家として、水辺で元気よく遊ぶ子ども=川ガキの撮影を続けてきました。撮影をはじめた動機は川のことをより多くの方に知ってもらうため。当事者目線でダム問題等を考えるためにも、まずは川に関心を持つ必要を感じたからです。川ガキやダム問題のプレゼンです。



▲川ガキなどの紹介



▲川遊びでの周りの影響や変化

1 時間目・黙想館

ロックバランスに挑戦してみよう

(吉田 立/塩野義製薬株式会社)

時々メディアでも目にするようになってきたロックバランス。世界中に愛好家があります。なんでこんなあり得ないバランスで石が立ってるの!?と驚くだけじゃあもったいない。そもそも物が自立するってどういうことか、改めて考えてみて、心を研ぎ澄ませチャレンジしてみました！



▲ロックバランスの魅力を語る



▲卵を立ててみて、立てる感覚を味わう



▲参加者もいよいよ挑戦！

1 時間目・ハンターホール

「問いを立てる」とは何か~問いとワークショップ

(中西 紹一/プラス・サーキュレーション・ジャパン)

ワークショップを企画、実施する際、問いをどのように立てるか、つまり「問いの重要性」が話題になることが散見されます。本プログラムでは、問いをどのように立てるか、そのポイントを皆さんと一緒に考えていきました。



▲問いを立てるテクニックを学ぶ



▲グループごとに意見交換

1 時間目・アンデレホール

SDGs 超入門

(林 浩二/千葉県立中央博物館)

国連による持続可能な開発目標(アジェンダ 2030、SDGs)が話題になっています。SDGs という用語はまわりで聞くし、スーツに丸いバッヂをつけている人もよく見かけるけど・・・、というみなさんがご参加。ご自分の活動とSDGsについて考えました。



▲SDGsの優先順位をランキング化



▲なぜそのような順位になったかを共有



▲質問や意見を述べる

1 時間目・本館ホール

林業 ZINE 編集会議

(細井 岳/杣 Books)

前代未聞、史上空前、空前絶後、人跡未踏、破天荒且つ破廉恥且つ未曾有な林業にまつわる ZINE(個人で作る小部数発行の雑誌)を創りたいのです。栄えある第 1 回編集会議を開催しました。



▲実施者主催、奇想天外なワークショップの紹介



▲質疑応答や笑いを交えながら

2時間目・新館ホール

福島で"生きる"をつなぐ～農×自然保育×地域～

(土屋美香/森のようちえん こめらっこ)

福島で会津伝統野菜をつくる農家が始めた森のようちえん。生きるために欠かせない農業と、子どもたちの生きる力を育む自然保育の取り組みを通して、福島の今と未来、それぞれの地域、土地で生きていくことを参加者のみなさんと一緒に考えました。



▲森のようちえん こめらっこについて紹介



▲一人ひとり、マイパブリックを考える

2時間目・黙想館

星野道夫という生き方をめぐって

(高橋 真理子/一般社団法人星つむぎの村、濁川 孝志/立教大学 コミュニティ福祉学部)

星野道夫、ご存じですか？ 自然写真家でありかつ表現者である星野道夫が43歳で星になってから今年で24年。彼の言葉を通して、私たち一人ひとり、そして社会を見つめてみました。



▲星野道夫という人、思想について紹介
嘘つき役を決める



▲星野氏の言葉の音読を聴きながら、
各々思いつくキーワードを挙げる



▲グループごとにキーワードを共有し、発表

2時間目・ハンターホール

モノと対話する～アクターネットワーク論とは何か

(中西 紹一/プラス・サーキュレーション・ジャパン)

近年、科学人類学者 B.ラトゥールの著作が多数翻訳され、「アクターネットワーク」という理論が注目を集めています。本プログラムでは、「モノと対話する」をキーワードに、アクターネットワーク論は何か、その可能性と限界について皆さんと考えていきました。



▲キーワード説明



▲参加者の意見は？

2時間目・アンデレホール

私を雇ってください!~外国人と一緒に働くための WS~

(邱 君妮/ICO 京都大会準備室研究員、高尾 戸美/合同会社マープルワークショップ、

林 浩二/千葉県立中央博物館)

日本人と外国人の「つながり」や「絆」をつくる上ではどんなことが大切でしょうか?このプログラムでは、在日9年のジェニーの声に耳を傾けるとともに、彼女を同僚に迎えるとしたらどのようなことが気になったり、必要なか対話を通じて考えてみました。



▲ジェニーによる自己PR



▲ジェニーにお願いしたい仕事・質問事項は?



▲各グループによる発表

2時間目・本館ホール

図書館実験室りぶらぼ!~想像×創造+思索×試作~

(朝倉 久美/県立長野図書館)

読書や勉強をするところというイメージの図書館は、今やコミュニティの生まれる実験空間(マナビバ、アソビバ、ツナギバ)に変わりつつあります。県立長野図書館で展開しているリテラシープログラムを、ワークショップで体感!コンセプトは「体験、発見、やってみ!」です。



▲体感型の県立長野図書館を体感する



▲鬼ヶ島への修学旅行のしおりをつくる



▲グループごとのプランを発表

3 時間目・新館ホール

中学生向けに行った飼育員のはなし

(吉里 光/アクアマリンふくしま、安田 純/アクアマリンいなわしろカワセミ水族館)

中学生の頃に今の人生のきっかけになることや言葉はありましたか？水族館で働くことや、飼育員のなりかた、その中で好きや得意が仕事に変わったこと、やりがいや苦労などを中学生にむけて話しました。毎回改良中です。中学生になったつもりで参加してもらい、感想を教えてくださいました。



▲飼育員の役割や仕事内容などの紹介



▲えんたくんを使用し、参加者も意見を出し合う

3 時間目・黙想館

時は江戸時代。で始まる中学理科授業

(和田 健/公立中学校教員)

中学生を対象にした理科授業を实践。子どもとしてではなく一人の学び手として、みなさんに参加してもらいたい。大人だって、子どもだって、人である以上、学びたい。参加者の皆さんには、江戸時代の大名として、大阪城の建設に一役を担ってもらいたい。我は徳川家康じゃ。



▲時は江戸時代。。伊豆大名から指令が。



▲まずは各々1人で考える



▲グループごとで考え、意見を出し合う

3 時間目・ハンターホール

「占い思考」を学ぶ~非合理性を合理的に楽しむ

(中西 紹一/プラス・サーキュレーション・ジャパン)

「占い」という非合理的実践を、合理的に楽しみましょう、というプログラムです。今回は姓名判断を通じて、非合理的世界に見られる合理性とは何かについて議論しました。



▲占いについての解説



▲画数ごとに意味がある



▲2人1組で占い

3時間目・アンデレホール

プラごみを楽しく減らすには!

(眞木 まどか/港区立みなと科学館、林 浩二/千葉県立中央博物館)

どの程度プラスチックに頼った生活なのか全員で話した後に、プラごみを楽しく減らす方法を考えました♪



▲ピンク色の多さで、プラスチックへの依存具合がわかる



▲プラ削減解決のアイデア会議



▲全員で内容のシェア

3時間目・本館ホール

「音読療法 体験」

(大間 哲/JOMA 海外宣教連絡協力会)

「朗読」と似ているようで全く違う「音読」。ただ文を声に出して読むことを通じて、呼吸を意識し、心身の健康を自ら作り上げていくことができる「音読療法」を体験しました。



▲まずは心と体をほぐす



▲実施者の動きに合わせて音量が変わる



▲様々なバリエーションで音読を進める

4 時間目・新館ホール

きらめく世界 となりの自然は Wonderful♪

(小沢 有紀/株式会社 Biotop Guild)

私たちの暮しの身近にある自然。あることが当たり前で、あまり目を向けることなく通りすぎてしまうこともありますが、よくみるとたくさんの発見や学びがあります。身近な自然の魅力の一部を、楽しみながら感じ&体験しました。



▲植物のにおいについての解説



▲実際に匂いをかいでみる



▲オリジナルのにおいスプレーを作る

4 時間目・黙想館

室町時代とつながろう～動物物語から入る日本の中世

(松田 佳代/フリーランス学芸員)

秩序でがんじがらめになる前の混沌とした時代、中世。日本文化を読み解く鍵がたくさん落ちている時代です。庶民が急成長して文学も庶民向けが発展した中に、タヌキを主人公にした動物たちの物語があります。くずし字を覚えながら、まずは物語を通して中世の空気に触れてみました！



◀ 元来口伝えだった物語が、文字化されはじめたのが室町時代。くずし字で書かれた『十二類絵巻』を輪読

4 時間目・ハンターホール

バルーンアートで大笑い

(松下 直美(クラウンチョコ)/NPO わかちつむぎあい、川北 祥子/こども英会話講師)

まずはバルーンショーで大笑い。そのあと、なぜ私が休日にバルーンアートをはじめとする地域活動に没頭しているかお話し。さらに、バルーンアートに挑戦。ご自分で作った可愛いバルーンアートを腕につけて、笑顔に♪



▲巨大風船爆破！



▲精神科看護師としての経験から、バルーンアートの世界へ



▲風船でアンパンマンを作ってみよう

4時間目・アンデレホール

障害や病気をもつ子どもの「きょうだい」に思いを馳せる

(村上 珠理/京都こどもきょうだい会 えるも)

障害や病気をもつ子どもの「きょうだい」を「きょうだい児」と呼ぶことはご存知でしょうか? 「きょうだい児」もまた、色々な悩みを抱えていることが少なくありません。最近ようやくきょうだい支援の必要性が広く知られるようになってきましたが、きょうだい支援には様々な壁があるのが現状です。きょうだい児をとりまく環境や、周りの大人たちができること、一緒に考える機会になりました。



▲「きょうだい児」とは?



▲きょうだい支援を広めるためのアイデア出し



▲グループごとでアイデア共有

4時間目・本館ホール

スポーツを「つくる」ワークショップ

(谷口 彩/一般社団法人共創文化推進委員会)

自分たちのスポーツを、自分たちでつくる」ワークショップをします。スポーツは、「する、みる、ささえる」という軸に「つくる」が加わり、学校教育や研究、企業、地域コミュニティでも広がりはじめています。自分たちのスポーツを自分の手でつくりプレイする「スポーツクリエイター」の体験を一緒にしました!



▲各々、新しいスポーツを創造中



▲つくって、プレイ! 「やりきった!」

◀ 創作スポーツで対戦

5 時間目・新館ホール

糸紡ぎワークショップ 手仕事のある暮らしはいかが

(関 伸一／長野綿の会)

ガンジーの描いた理想の社会には、糸紡ぎを始めとする手仕事とその中心にありました。今回は、日本固有の品種である和綿から糸を紡ぐ体験を通じて、手仕事の魅力について意見交換しました。手仕事で作る暮らしは、アート、愛情、アイデンティティーの表現の場。手を動かしながら、心と体で感じてみました。



▲糸紡ぎや手仕事の大切さを学ぶ



▲糸になる前の綿に触れる



▲いよいよ糸紡ぎ体験！

5 時間目・黙想館

素晴らしい手漉き和紙-日本画修復に使う紙を中心に

(嶋根 隆一／伝世舎)

千年の寿命があるとされる和紙。そのためには原料の処理や漉くまでに非常に手間がかかります。主原料は楮(こうぞ)、三椏(みつ また)、雁皮(がんぴ)の繊維の長い韌皮(じんぴ)を使い、流し漉きで薄くても丈夫という特徴があります。日本画の修復や表装に 使う紙を中心に、美しい手漉き和紙の世界に触れてみました。



▲和紙を作る過程、素材、種類など、実物を見ながら解説



▲実際に、和紙や原材料に触れる



▲参加者からの質問をもとに解説

5 時間目・ハンターホール

NVC をクレーム対応に応用しよう

(全 正徳／合同会社 ヘソノオ)

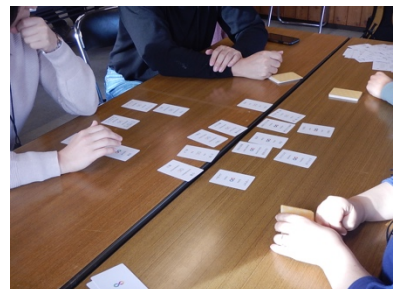
NVC の再現度を高めるため共感トランプを利用してクレーム対応を試みているワークショップ。電話占い事務局で CS 責任者を歴任し NVC で全クローリングしてきた秘訣を伝授。



▲ワークショップスタート



▲共感トランプを使ってグループワーク



▲使用した共感トランプ

5 時間目・アンデレホール

趣味から始めた無農薬による米づくりと生命の循環

(松本 一直/ライター)

13 年前から千葉の限界集落に近い場所で仲間たちと無農薬、湧水を使った米づくりを始めました。草取りは取って手作業、稲も天日干しで米の自給は 100%。ぼくらの田んぼだけは、絶滅危惧種が生息するなど生命の息吹が渦巻いています。つながり合う生命の実感。学んだ武術と農作業の身体の使い方の共通点もお話しました。



▲無農薬の米作りについて



▲新陰流の「吊り腰」をやってみる

5 時間目・本館ホール

お腹にふれて 自分の内側とつながる (チネイザン)

(岡田 朋子/チネイザン citta)

『心と身体は表裏一体』心が緊張するときや、悲しいとき、身体もぎゅっと収縮したり、重くなったりして、常に心に対応する感覚を返しています。今回は、普段意識しない自分の内側(呼吸や内臓)へ意識を向けることで、本来の自分自身とつながり、気づきを得ていきました。WS 中、参加者同士が触れ合う時間もありました。



▲薄暗い部屋で瞑想



▲ベアになってチネイザンを体験



▲感想を分かち合う

6 時間目・新館ホール

たった 5 分で伝えたいことがまとまるライティング法

(梅崎 靖志/風と土の自然学校)

「書きたいことがなかなかまとまらない・・・」そんな悩みを解決するライティング法をご紹介&体験しました。ポイントは、文章の素材出しと整理法。45分プログラムの中で、各自1つの記事を仕上げました。今回の素材は「つなぐ人フォーラム」。体験したり、見聞きしたことを、ご自分の活動分野にからめて文章をまとめます。書き上げた文章は、「つなぐ人フォーラム」の魅力伝える文章になったに違いありません。次回の募集告知に、ぜひ活用させてください。



▲文章を書くとき、どんなところに悩むでしょうか？



▲ライティング法を実践

6 時間目・黙想館

縄文土器の復元図を描いてみよう。

(石原 道知/東京藝術大学 文化財保存学)

縄文土器は日本列島の随所で大量に出土しています。その文様は地域と時期で様々なバリエーションが在ります。ところがその文様構成には共通した特徴が見られます。その文様と造形の特徴を修復作業中に撮影した記録写真で紹介しました。そして、一部を隠した土器の写真から文様の復元図を推定して描いてみました。



▲縄文土器の復元や縄文時代について解説



▲船橋市出土の土器の例



▲「どんな紋様が入る？」クイズの答えを考える

6 時間目・ハンターホール

学習プログラムをどう評価するか

(望月 俊男/専修大学)

ワークショップをどう評価するか、といったときに、どのような視点をもてばよいのでしょうか。アンケートをすれば評価になるのでしょうか？あらゆることを全部評価できるのでしょうか？何のための評価するのでしょうか？このセッションでは、上記のようなことについての基本的な考え方をもとに、皆さんのワークショップやイベントの評価のあり方について考える機会をもちました。



▲そもそも評価とは？



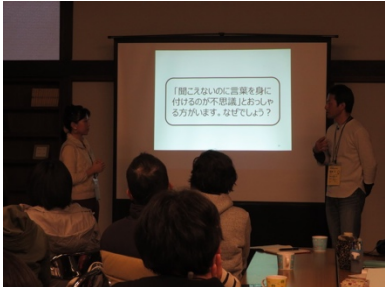
▲参加者自身のワークショップの評価を試みる

6時間目・アンデレホール

聞こえない人を見て学ぶ、言葉の世界って不思議!

(野口 万里子/シオノギ製薬株式会社、吉田 立/塩野義製薬株式会社)

先天性の重度の聴覚障がい者であり、2002 年半年間ドイツへ語学留学。全く聞こえず、口の動きを読み取ることで会話を学ぶ苦勞。グローバルに活躍する障がい者リーダーを育てるために子供たちが外国語を学ぶ場所を提供したい夢を語りました。普段は製薬企業に勤める小学1・2の娘のママです。



▲実施者同士による対談



▲参加者からの質問タイム



▲聞こえない子のための外国語学習の場の提供への課題を挙げる

6時間目・本館ホール

椅子に座ってできるセルフメンテナンス

(片平 祐子/ゆるリラ主宰)

人生をよりよく過ごすのに必要なのは丈夫なカラダ。足腰や体幹が安定してこそ好きなことが出来るのです。まずは呼吸の練習から行い足指チェック→足全体→上半身→お顔。全身スッキリ!!年を重ねると膝を痛めてしまう方が多く見られます。下半身強化を目的としたプログラムです。リフレクソロジスト歴 20 年、ルーシーダットンインストラクター、健康運動実践指導者、骨盤エクササイズインストラクターゆるリラ主宰片平祐子さんに担当してもらいました。



▲まずは呼吸の練習から



▲全身をスッキリさせる



▲最後は特製のお茶でリラックス
なんだか表情もスッキリ!

人 3日目：2.5 時間ワークショップ

①ロックバランス×フォトテクニク（川コラボ）

実施者：村山 嘉昭/吉田 立

実際の自然の中で石を立て、あなただけのインスタ映えする写真の撮り方を伝授！



▲写真家からの構図の解説も



▲ロックバランス&インスタ映えに挑戦！



▲作品発表や感想の分かち合い

②“企画をアップデートする” ～星野道夫のインストール～

実施者：濁川 孝志/林 浩二/こくぼ ひろし

つなぐ人フォーラムで出会い、生まれた企画や元々やりたと思っていた企画をアップデートしました！

「つなぐ人」のよさは、新しい考え方との出会いであり、新しい同志との出会いです。

星野道夫研究の濁川先生から星野さんのエッセンスを解説していただき、その考えや思想を、みなさんの企画やプロジェクトにインストールして、帰ってから動くことができるアウトプットをしていきましょう！



▲星野道夫氏についてレクチャー



▲それぞれが今取り組む企画にインストール

③あなたのプログラムを劇的に変えるワークシートをつくろう！

実施者：望月 俊男/高尾 戸美/吉里 光/小笠原 祐司/佐々木 幸雄

日本初 あなたのプログラム達が生まれかわります！！

つなぐ人フォーラムの英知が集結して、そんなシートをつくっちゃいました！！



▲“Assessment Evaluation Grading”とは？



▲グループで考えます

④ マップとジェニーワールド！！

コミュニケーションのためのキーワードシンポジウム

実施者：野口 万里子／邱 君妮／小杉 瑞穂／平原 由樹／露木 里南／細野 和也

マップ(野口 万里子さん)とジェニー(チョウ チュンニさん)の実体験に基づくコミュニケーションの世界は奥深い。みんなでコミュニケーションに関するキーワードを散りばめました。コンプレックスを楽しみましょう！



▲ゲームを通して、ロバクとジェスチャーで文章の伝達に挑戦



▲「コンプレックス」をキーワードに
“当たり前” や “常識” についてみつめなおす

⑤ 私はここにいます、あなたがいてくれて良かった。

～自己肯定感をあなたと共に考えた～

実施者：村上 珠理／小野寺 美和／岡田 英之

前半では障害のある兄弟姉妹を持つ『きょうだい児』の現状や課題について深め、それを踏まえての後半では「自己肯定感を上げる」ということをテーマに自分自身が気付いていなかった魅力や価値を発見していきました。



▲自分を認めることで「生きていいんだ！」という声
参加者から上がる



▲自分の欠点をポジティブにとらえなおして発表しあい、
ワークショップは幕を閉じた

⑥ 自分自身と「あらゆる方法で」つながるバスケット

実施者：全 正徳／大間 哲／古川 智美／岡田 朋子／三原 重央／瀧澤 有希子／三浦 卓也

合気道、音読、ボディケアーズ sisters (ロルフィン、チネイザン)、NVC、吊り腰など・・・

自分とつながる方法をお持ち帰り！実生活に生かそう。



▲ホールプレスや音読からスタート



▲6名の実施者各々による、様々な方法で
心と身体がつながっていく



▲感想を共有し、チェックアウト

⑦「愚問愚答の会」2.5 時間レンタル。

実施者：細井 岳／朝倉 久美

「林業 ZINE 編集会議」と銘打った 45 分プログラムにおいていっさい編集会議をやらなかった細井さんから迷コンテンツを奪ってきました。細井さんの姿はありません。本人不在のワークショップ。



▲細井氏による数年分の 1 日 1 愚問から、くじ引きで選ぶ



▲「トリケラトプスをおいしく食べるには・・・？」
そんな愚問について真剣に考える

⑧セックスミュージアムとカブトガニの交尾から考える性のもやもや

実施者：イロタカ ラズワルド／久保園 遥

セックスミュージアムを作りたいイロタカさんと、カブトガニの交尾の話で盛り上がった久保園さんが、日本の性のもやもやについて考えました。 #性の悩み #情報発信 #性科学 #カブトガニの交尾



▲男尊女卑による経験談、モヤモヤを語る



▲セックスミュージアムの意義は、性について身近であろうとすること

⑨自分という自然にかえる時間

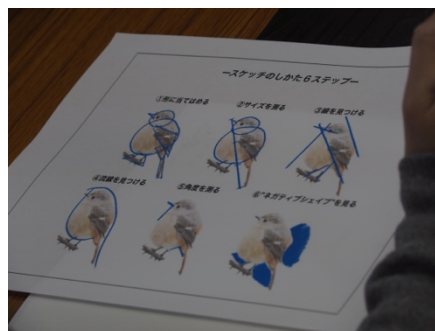
実施者：小林 絵里子／片平 祐子／小沢 有紀／西山 綾乃／村岸 隆行

屋外で自然を感じてもらいながら 体を動かします。

体を動かした後は、気に入った自然物（植物や石、なんでも）を持ち帰って、感じたことと見たことを絵日記に。クロモジ茶をいただいたり。スケッチの描き方の伝授も！



▲屋外で「歩く瞑想」をした後、気に入った植物をみつけて持ち帰る



▲スケッチの方法を伝授



▲絵日記を描いて、みんなで共有する

J-POWER（電源開発株式会社）とは？



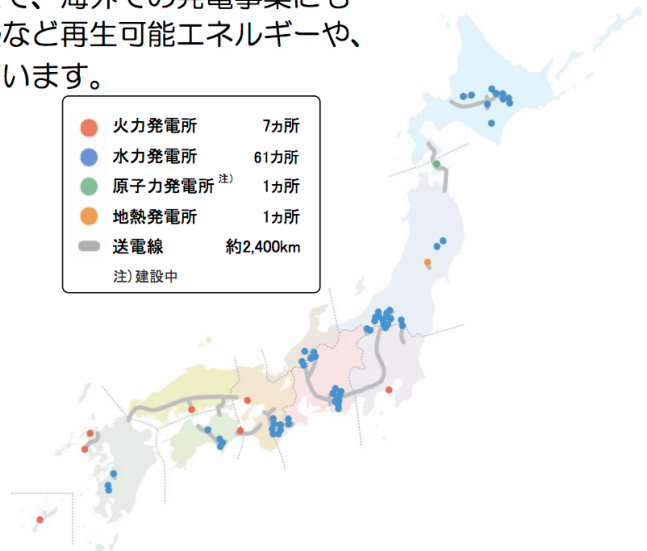
J-POWERは1952年に戦後の電力不足を解消するために、政府によって設立された電力会社で、2004年に完全民営化しました。

日本全国に発電所や変電設備・送電線を所有し、日本全体の電力の安定供給を支えています。つくった電気は地域の電力会社を通じて、皆様の元へ届けられています。

大規模な水力発電や石炭火力発電に加えて、海外での発電事業にも積極的に展開しています。また、風力や地熱など再生可能エネルギーや、バイオマスを活用した発電にも力を入れています。



● 火力発電所	7カ所
● 水力発電所	61カ所
● 原子力発電所 ^{注)}	1カ所
● 地熱発電所	1カ所
— 送電線	約2,400km
注) 建設中	



エコ×エネ体験プロジェクトとは？



J-POWERが「**エネルギーと環境の共生**」を目指して取り組んでいる社会貢献の活動です。私たちの豊かな暮らしはエネルギーと自然環境に支えられています。これらが互いにぶつかり合う存在ではなく「**つながり**」としてとらえ、どちらも大切にする心と技術を育てることを目的としています。



テーマは「体験・協同・学び合い」そして楽しむこと。発電の現場を訪れるツアーや、サイエンスカフェなど、エネルギーと環境のつながりを身近に、「**自分事**」として感じられるような体験型のプログラムに取り組んでいます。

水力編アンケートから（親子ツアーに参加した小学生の描画）



個人協賛

☆ **スズメ 社鳥** 様 (株式会社 鳥)

参加される方、おひとりおひとりによいご縁がありますこと、祈っております。



第12回つなぐ人フォーラム 実施報告書
2020年3月発行

編集・発行/第12回つなぐ人フォーラム実行委員会
公益財団法人キープ協会



第12回つなぐ人フォーラム事務局（公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 内）
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545
TEL 0551-48-3795 FAX 0551-48-3228 E-mail eventee@keep.or.jp